

しが学校支援センター  
「地域の力を学校へ」推進事業の実践校（2020年度実施分）



メニュー番号	19901
メニュー名	クルマと社会 つながる教室
校名(学年)	高島市立 新旭南小学校 (5年)
講師等	トヨタカローラ滋賀株式会社
学習名	自動車をつくる産業
教科等	社会科
実施日	令和3年 3月 12日 (金)

《 授業 》

今年度新たに学校支援メニューの登録をしていただいたトヨタカローラ滋賀（株）様がはじめての連携授業を実施されることになり、授業の様子を取材しました。

連携授業は小学校5年生の社会科学習「自動車をつくる工業」に直結する授業で、実車を4台運動場に持ち込み、学級ごとに1時間ずつ授業が実施されました。1時間の主な学習の流れは、次の通りでした。

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| (1) 支援者自己紹介と学習のめあての確認     | 約5分  |
| (2) 既習学習（自動車をつくる産業）のふりかえり | 約5分  |
| (3) ブース別学習                | 約30分 |
| (4) まとめと質問                | 約5分  |

学習の流れに沿い、具体的な授業内容を紹介します。

授業は、「トヨタという会社を知っているかな。」という問いかけから始まりました。ほとんどの児童は社名を知っており、車をつくり販売している会社からゲストとして来校されたことは容易に理解できていました。そして、支援者から児童に対し、「今日は、車がどのように社会とつながっているのかを学習してほしい。」という学習のめあてが提示されました。

そして、既習の「自動車をつくる産業」の学習の復習として、支援者から簡単なクイズが出され、1台の車に使われている部品の数や安全チェック項目の数等を確認した後、4つのグループに分かれ、ブース別に学習が行われました。

まず、ブース別学習のキーワードとして、【1】環境と福祉、【2】安全、【3】点検の3つが示され、その後児童たちは事前に並べられていた4台の車のところへ移動し、実車に触れながら学習を行いました。

○ブースA・・・燃料電池車両（ミライ）利用

ここでは、水素を燃料に電気を発電し、発電した電気で走る近未来の車についての学習をしました。

市販車のため、この車のことを知っている児童はたくさんいましたが、後ろのマフラーから出た水をコップで受けて匂いを嗅いでも無臭であることに驚き、環境にやさしい車であることを実感していました。



○ブースB・・・福祉車両（ルーミー）利用

ここでは、実際に福祉車両（ウェルキャブ車）に乗車、座ったままで乗り降りができることを体験しました。

子どもたちは、その仕組みに驚き強い関心を示していました。そして、身障者向けの駐車スペースとそのマークなどについての説明を受け、人にやさしい車づくりを進めていることについて学びを深めることができました。



### ○ブースC・・・ハイブリッド車（プリウス）利用

ここでは、クルマの安全性について、まずエアバックの数を探す活動から始まりました。エアバックのマークを手掛かりに、実車に乗りグループみんなでその数を調べました。その結果、1台に6つ（マークは8つ）ものエアバックが搭載されていることを発見し、シートベルトの補助具としてのエアバックの必要性を学びました。

また、ボディの安全設計の仕組みや自動ブレーキ（センサー）についても実車を前にパネルを使って説明を受けました。



### ○ブースD・・・SUV車両（ライズ）利用

ここでは、車の健康診断に当たる点検の必要性についての学びを深めました。

実際にタイヤの空気圧を測定したり、交換前と交換後のエンジンオイルを比較したりしながら、車を長持ちさせ安全で楽しいカーライフを過ごすためには、整備と点検が欠かせないことを学びました。



### まとめと質問

最後に、授業のはじめに学習のキーワードとして示された【1】環境と福祉【2】安全【3】点検について、各ブースにて学習したことをみんなで振り返りながら、「ストップ地球温暖化」を目指し、「すべての人にやさしい車」づくりや「交通死傷者ゼロ」をめざした安全な車づくりを目指すことで、みなさんに「楽しいカーライフ」を送っていただけるよう我々は日々努力をしていますという話で授業のまとめとされました。

その後、子どもたちからの質問を受け、それに応答する時間をとった後、記念写真を撮って授業が終了しました。

## 《感想》

### 児童・生徒

- ◇ウェルキャブ車の乗り降りがスムーズで便利だと思いました。
- ◇水しか排出しないMIRAIを見て、環境問題について考えました。
- ◇エンジンオイルやタイヤの空気圧を見て、整備の大切さがわかりました。

### 学 校

- ◇コロナの影響で、例年行っていた自動車工場の見学ができなかったため、学校に出前授業に来てもらえるのは非常にありがたかったです。4台の車で、福祉車両・燃料電池自動車・点検・安全面のしくみを実際に見て学習でき、子どもたちは大変うれしそうでした。

### 支援者・講師

- ◇ 授業のテーマであった「環境と福祉」「安全」「点検」は自動車に関してだけではありません。お家や学校での電力の使い方・水の使い方・ごみの出し方、交通ルールの守り方・自転車の手入れの仕方など毎日の生活にも関係しています。大切な家族のため、日本人のため、世界中の人のため、南極に住むペンギンなどの地球上の生物のため。「環境・福祉・安全・点検」について考えてほしいです。
- ◇ 内容がいっぱいですので時間厳守のスタートにもご協力頂け感謝しております。また、中休み時間に校内放送で全児童に周知していただき、たくさんの子どもが遊びに来てくれましたので「ふれあいの機会」としては充実したと考えております。たくさん質問が嬉しかったです。